

● 「LED 街路灯導入実証実験事業」の実施について

札幌市では、二酸化炭素排出量の削減など環境負荷の低減を図るため、LED（Light Emitting Diode：発光ダイオード）街路灯の導入を計画しているところですが、このたび、本格的な導入に向けて、実証実験を行うこととしました。この実証実験では、町内会や照明器具メーカーとの協働により、住宅街の一部地域に LED 街路灯を試験的に設置し、市民の意向調査や街路灯機能、維持管理上の課題などを検証します。

なお、設置に当たっては、照明器具メーカーに事業への参加を広く呼び掛け、参加を希望する各社から寄贈された LED 街路灯を既存の水銀灯と交換していきます。

1 事業概要

(1) 実施期間

平成 21 年 9 月～平成 22 年 3 月

(2) 実施場所

西区発寒連合町内会区域内（中央発寒町内会および発寒旭町内会の一部）

(3) 評価・検証内容

- ① 明るさや色合い、景観への影響など、光の性質の違いからくる感じ方や街路灯としての評価についてのアンケート等による市民の意向調査
- ② 路面照度の測定による街路灯機能の検証
- ③ 維持管理上の課題についての検証

2 事業の背景

現在、市内には、札幌市が管理するものと町内会が管理するものとを合わせて約 15 万基の街路灯が設置されていますが、街路灯の整備については依然として市民からの要望が強い状況にあります。また、道路整備等の事業や開発行為、町内会からの移管により、市が管理する街路灯は毎年約 3 千基ずつ増えており、それに伴い、使用電力量や二酸化炭素の排出量も年々増加している傾向にあります。

一方で、札幌市では昨年 6 月に「環境首都・札幌」を宣言し、市民・企業・行政が協力して環境問題に取り組んでいるところですが、街路灯を整備するに当たっても省エネ性能の高いものへの切り替えを進めるなど、地球環境問題へ対応が必要となっています。

そこで、消費電力が少なく長寿命であるという LED の特長に着目して、街路灯への導入に向けた実証実験を行うこととしたものです。この導入によって、二酸化炭素排出量や器具更新に伴う廃棄物量の削減など環境負荷の低減が図れるとともに、電気料金や維持作業量の減少による保守費の削減の効果も期待できます。

【参 考】

水銀灯 (80W) を LED (33W) に交換した場合の 1 灯当たり年間 CO₂ 排出量および電気料金

	水銀灯	LED	削減効果
CO ₂ 排出量	186kg	68kg	118kg (△63%)
電気料金	5,808 円	3,000 円	2,808 円 (△48%)

3 参加事業者の募集

(1) 募集期間

平成 21 年 7 月 28 日（火）～平成 21 年 8 月 18 日（火）

(2) 申し込み方法

道路維持課で配布する申込書に必要事項を記入の上、下記の申し込み先まで持参。

※ 募集要項や申込書等はホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/doroiiji/>) からダウンロードできます。

[申し込み先]

札幌市建設局管理部道路維持課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 市本庁舎 6 階

4 今後の予定

今回の実証実験の結果を受けて、街路灯に求められている「明るさ」と「環境問題への対応」について調和の取れた「街路灯整備方針」の検討を行っていきます。

来年度以降は、まず生活道路における街路灯の省エネ化施策を進め、将来的には、より高性能な LED 街路灯の製品開発状況や、財政状況も踏まえた上で、市内すべての街路灯を環境性能の高いものへ切り替えていく検討を進めていきます。

5 事業のキャッチフレーズ

「～Let's Eco Design～ 新しい灯りでエコライフをデザイン」

「LED」という「新しい明かり」を取り入れていくことを契機に、「明るさ」と「環境」の調和が図れるように、日々の暮らし方を「エコライフ」に「デザイン」し直していこうという思いを表しています。なお、「Let's Eco Design」の頭文字を取ると、「LED」となります。

問い合わせ先

建設局管理部道路維持課

担当：長瀬、廣川 電話：211-2632